

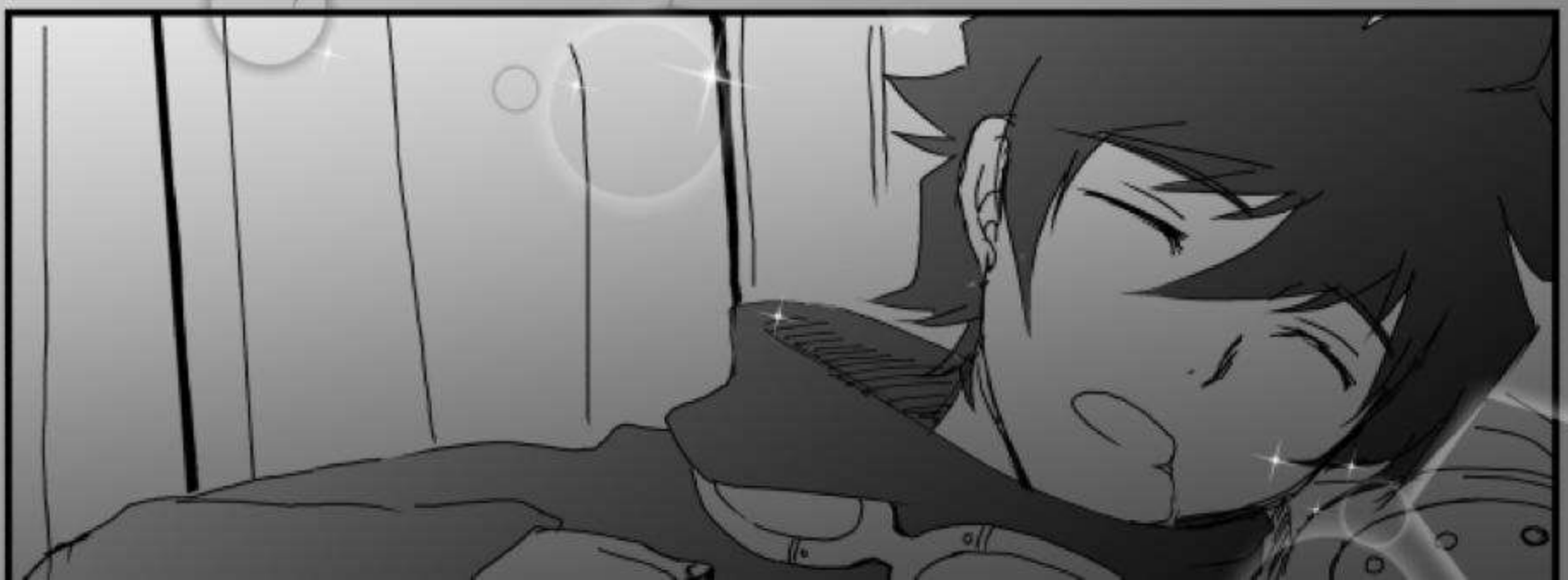


Kstbar

僕の退院祝いにと
事務所で皆が
軽く祝ってくれた夜。

僕は途中で眠ってしまい。
起きた時、事務所には
誰も残っていなかった。

クラウドさんを、除いては——





もしかして
僕が起きるの
待ってたのかな？

よく眠っていた
身体の具合は
どうだね？

退院した
とはいえ
病み上がりだ

コソソ

クラウスさんは
これから
どうするん
だろう？

はい

大丈夫です
心配して
いただいて
ありがとうございます
ございます

いや…さすがに
ないか……
何を期待してんだか

？

ア
ヒ









驚かせて
すまない



かあああ

これまでも
君を尊いと思う
事は幾度も
あったのだ

君を誇りに
思うと同時に

そして
此度の戦いで
確信した

ぬぬ



えっと...あの!!
あうえっと...あの!!
ええええええええ!!

今、一瞬...



尊く
愛してる



迷いのない
言葉...

いつでも
貴方の言葉に
力を貰ってた



承知している

ポク...
男ですよ?

気付いてくれた

助けに来てくれた

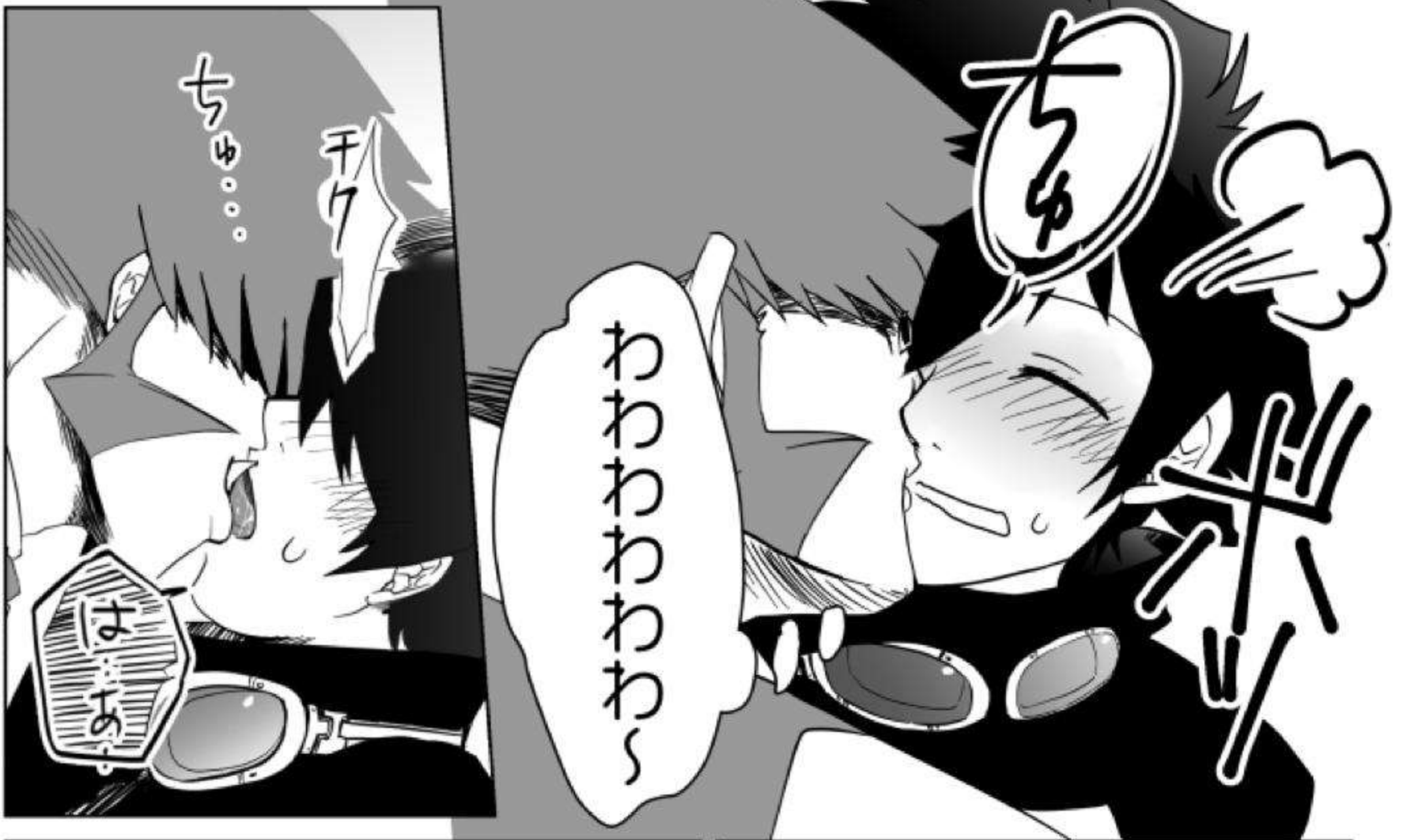


あの時

尊いと思ったのは

こっちなのに







痛くはないか？

あはい大丈夫です



舐めておけば治ります

ロ70



わあああああ
血い舐めたあああ



ロ70



はああわわ

しっかり舐めて
おかないと
跡が残ると
いけない……

いや？
それより



そんな
オシの……

血なんて！

いや！
汚いですよ！
オシの血なんか！

わたた

わたた

汚くないん
ですか？

？







「#6, #6000...
V112...405...」

三井



「レ、レオナルド君？」

「あ！！」



「あ...」

「#6, #6000
V112...405...」

「#6, #6000...」

「#6, #6000
V112...405...」











ふああー!



しゅわ

おおお さすが
クラウスさん!
ネクタイ外すの
絵になるなく
かっこいい



しゅわ...

レオ

驚かせたかね



不快に思ったら
すぐにいってくれ

そんな...

だから...

ゆる





はあ...はあ...

はあ...

はあ...はあ...

はあ

はあ

はあ



はあ...

はあ...

はあ



クラウドさん...

はあ...

はあ

はあ

これって...
キスマーク?
痛かったけど

大丈夫か?
レオ

はい
大丈夫です
余裕ですよ

はあ

はあ...

はあ







クラッ！
クラウスさん
あ、あの…えっと！
ちよっ… ちよつま！



やはり後ろは
抵抗があるか

あ、ええあの
あの！

慌てる事はない
レオ
時間はたくさんある
のだから

でも！！



むに
むに

レオ

君のスピードで
いいのだ
焦らなくていい



あ

う



クリッ



でも…
僕は今
クラウスさんに
何かして
あげたいです

だから
少しの無理くらい
大丈夫なんです！

心の準備が
できてなかった
だけで…

ちよつま…
その…

だから…

その…







君にはさしつか
助けなくてもいいからさ
めい

これからも期待
しているよ

ナイトオプーターズ
亀の騎士殿



Fin.